



たかあき通信

～12月定例会市政報告書～

発行責任者：
無所属会派『越谷刷新クラブ』
越谷市議会議員 のぐち高明
〒343-0032
埼玉県越谷市袋山 2039
Tel:048-919-2772
Mail:otoiawase.noguchitakaaki@gmail.com

2021.1
Vol.7

※右のQRコードを読み取ると、過去の私の一般質問の動画が表示されます。通信料につきましては各自個人負担でお願いいたします。なお、動画はWi-Fi環境下での視聴をお勧めします。

【12月定例会報告】

●否決：越谷市職員定数条例の一部を改正する条例制定 《議案の内容》

来年度からの第5次総合振興計画の実施等に伴い、職員定数を今後5年間に於いて、市長部局で80名、教育委員会で3名、本市全体では2,985名から3,068名へと83名増員するもの。

議案に対する反対討論として、12月14日に越谷刷新クラブを代表しまして登壇いたしました。

《反対討論要約》

本市の試算によると職員定数の増員に伴う予算の増額は、職員1人当たりでは1年間で約830万円の増額、83名では1年間で約6億8,900万円の人件費増額になります。

決して必要な部署に人員を増強すること自体に対して、必ずしも賛同できないわけではありません。

第5次総合振興計画におけるA IやR P Aなどのデジタル化の推進を活用した業務効率化の推移や、新型コロナウイルス感染症感染拡大による社会変化、また、各部署へ依頼した事務事業の見直しの結果などを、「十分に見極めることなし」に「現段階において今後5年間の職員定数を決めてしまうこと」に問題があると考えます。

以上のことから本議案に対して**反対**します。

《審議結果》

反対		賛成	
越谷刷新クラブ	4	立憲・市民ネット	6
自由民主党越谷市議団※	7	共産党越谷市議団	4
公明党越谷市議団	6	無所属	1
日本維新の会	1		
無所属	1		
合計	19		11

※議長会派であり、議長は採決に加わりません。なお、現在の議員数は31名です。なお、議員定数は32。

●その他51議案については可決



のぐち 高明
過去一般質問動画一覧



12月定例会
第108号議案



※イラストはイメージです。

〔定例会を終えてのコメント〕

12月定例会にて、第108号議案、越谷市職員定数条例の一部を改正する条例制定について否決されました。

職員定数の増加は、本市の財政の一層の硬直化を招くことが危惧されることから、極めて慎重であるべきなのは、言うまでもありません。また、人口減少に伴う市税収入の減少、高齢化に伴う医療・福祉・介護等の社会保障費の増大、公共施設の老朽化対策に必要な費用など、今後の財政状況の悪化に繋がる要因が本市には多数存在しております。

今後も本市の動向につきましては注視して参ります。

【12月定例会市政に対する一般質問報告】

令和2年12月18日（金）に、私の市政に対する一般質問が行われました。

1 職員着用の名札について

- ① UDフォントや大きいフォントへの変更について
- ② ひらがな表記、ローマ字表記、所属部署の明示について

2 GIGAスクール構想開始に向けた取組について

- ① タブレット端末を活用した授業の現状について
- ② 教員のICT活用指導力等の現状について
- ③ プログラミング教育指導に向けた取組について
- ④ 教員の働き方改革について

3 現状を踏まえた今後のまちづくりについて

- ① 大袋駅東口駅前周辺整備の現状と今後について
- ② 東武スカイツリーライン終電繰り上げによる市民の利便性の低下について
- ③ スーパーシティ構想実現に向けた取組について



12月定例会
市政に対する一般質問
動画

《市長・教育長との主なやりとり》

〈職員着用の名札について〉

Q 全ての職員の方には是非ご自身の名前をはっきりと見せて、自信を持って職務にあたっていたきたいと考えておりますが、市長のご見解は？

A 職員は常に市民サービスに呈する。基礎は親身になって話をする。名前が見えればより親近感が湧く。ことあるごとに自信を持って名前を堂々と見せて市民サービスに関わるように今後も指導していく。

〈GIGAスクール構想開始に向けた取組について〉

Q 本市導入のiPadはApple pencilのようなスタイラスペンがとても活躍するタブレット端末ですが、今後スタイラスペンの導入は検討されているか教育長のお考えは？

A 入力装置としてはキーボードを揃えた。スタイラスペンは入力のツールとしてのひとつであり注目している。今後実践を積み重ねる中で調査研究していく。（部長答弁）



〈現状を踏まえた今後のまちづくりについて〉

Q 東京に通わずとも本市の中だけで日々の日常を完結できる可能性を秘めたスーパーシティ構想実現に向けた取組みについて、本市としては現在どのようにお考えか？

A 国・県も検討しており、コロナ禍で生活様式が変わってきている。東京の衛星都市としてどのようにあるべきか引き続き検討していく。

※この報告書は費用を抑えるため、のぐち高明本人が作成から印刷まで行っております。イラストはフリー素材です。
Instagram/LINE@/Facebook/Twitter 等にて随時発信しております。QR からフォローをよろしくお願いいたします。

『のぐち高明プロフィール』

1982年（昭和57年）6月5日生まれ 38歳
野口学院を経営する両親の元、長男として生まれる。
しらこぼと幼稚園／越谷市立大袋北小学校／私立城北中学校／
私立城北高等学校／東京理科大学経営学部／
元川口市役所行政職員
心身障害福祉センターわかゆり学園／情報政策課
介護保険システム管理・市公式ホームページ構築庁内担当等
平成最後の越谷市議会議員選挙（2019年4月21日執行）
にて地域の皆様に支えられ初当選（1期目）
無所属会派『越谷刷新クラブ』に加入
政治信条『地域密着・地元貢献・政治は地元地域から』
趣味『テニス・ゴルフ・クライミング・コーヒー・畑』

